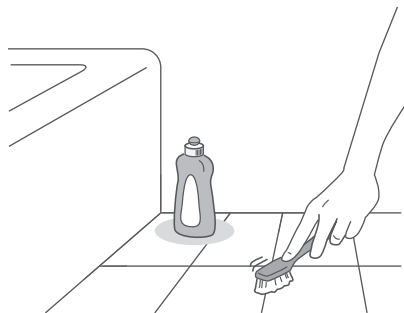


浴室の床・壁・天井のお手入れ

入浴後や気がついたときにサッとお手入れすることが大切。

汚れをためない習慣が、ガンコな汚れを未然に防ぎます。

床・壁・天井



普段のお掃除

ユニットバスの多くの部分は、強化プラスチックが用いられています。住まいの洗剤や浴室用洗剤をスポンジにつけて洗うときれいに保てます。タワシやクレンザーはキズの原因になりますので、使用しないでください。

床（洗い場）のお手入れ

床の汚れはスポンジに浴室用洗剤をつけて軽くこすり、水洗いして洗剤を流したあと、乾いた布で拭きます。

床の黒い汚れはカビです。その部分にカビ取り剤を塗り、しばらくおいたあとで水洗い流してください。

壁・天井のお手入れ

シャワーで全体に水をかけながら雑巾やモップを利用して、水洗いをします。ドアまわりや換気扇などに水をかけないでください。

汚れが目立つときは、床と同様に浴室用洗剤をスポンジやモップにつけて軽くこすり洗いをしたあと、水洗いをしてください。

壁や天井の目地などの黒ずみ汚れもカビです。床と同様にお手入れしてください。

※手摺りの点検は定期的に行い、緩みのないようビスなどを締めてください。緩みがあると、つかまったときに外れるなどして大変危険です。

※浴室の天井点検口のフタがズれていると湿気が天井裏にこもってしまいます。

ミラー

やわらかい布で水分を拭きます。

白くこびりつく汚れは軽いうちなら浴室用洗剤（中性）で落とせます。

それでも落ちない場合は、研磨剤入り洗剤でこすり落とし、水拭きと乾拭きで仕上げてください。

※酸性やアルカリ性の強い洗剤を使用すると、裏側の塗料が腐食し、黒いシミが発生することがあります。

シャワー

シャワーのお手入れ

シャワーのハンドル、ホース、蛇口などは石けんカスや垢などでもくもりが出てきます。ハンドル部分は柔らかい布で拭いてください。ホースや蛇口部分の汚れは浴室用洗剤で洗い落としてください。

シャワーのお湯の出が悪かったり、ムラがあるときには、シャワーヘッドが目詰まりしていることがあります。浴室用洗剤を薄めた液に入れてスポンジでこすり洗いをするか、洗剤をつけた歯ブラシでこすってください。

浴室暖房乾燥機

※種類によって方法が異なりますので、詳しくは取扱説明者をご覧ください。

入浴後は換気運転を行いましょう。

月に1回ほど、フィルターのホコリを掃除機で吸い取ります。汚れがひどい時は、フィルターを薄めた中性洗剤液に浸し、軽く洗って乾かします。熱湯で洗うと変形することがあるので注意してください。

お手入れは機械が確実に停止してから行ってください。

必ず手袋をはめて、足元にも注意してください。

浴室暖房乾燥機の調子が悪い

風量低下や乾燥が遅い時は、フィルターを掃除してください。

- ① 吸気グリルの取っ手を押してフックを外し、グリルを引き下げて本体から外してください。
- ② フィルターの取っ手を持って、フィルターを外してください。
- ③ フィルターのホコリを掃除機で吸い取ります。汚れがひどい時には、薄めた中性洗剤液に浸し、軽く洗って乾かしてください。
- ④ 取り除いたのと逆の順序で取り付けてください。

